

外郭団体ミッション遂行評価票

【平成28年度取組結果】

団体名	株式会社 北九州輸入促進センター
-----	------------------

所管課	産業経済局 国際ビジネス政策課
-----	-----------------

団体に対するミッション
<p>小倉駅新幹線口エリアにおけるまちづくりの中核施設として、新たな「ビジネス」「交流」「人材」「モノ」を創出・育成する「はぐくみの拠点AIM」という、市が定めたビルコンセプトに基づいたテナント誘致を行い、健全な経営のもと、AIMビルの管理・運営を行う。</p>

行財政改革大綱における見直し内容
<p>現在、AIMビルへの積極的なテナント誘致活動により、経営状況が安定化してきており、施設設備の老朽化に伴う大規模修繕費用の負担も踏まえつつ、今後とも健全経営の維持に努める。</p>

ミッションに基づく中期計画							
3~5年後に 目指す状態	継続して積極的なテナント誘致活動を行い、ビル入居率の維持、向上に努めると同時に、単年度決算での黒字を今後も確保し続けることを目指す。						
主な成果指標	年度ごとの目標及び実績（太枠は最終目標年度）						
	H27 実績	H28		H29	H30	H31	H32
		目標	実績	目標	目標	目標	目標
ビル全体の入居率	90%	87%	91%	88%	89%	89%	89%
当期純利益	192,307千円	黒字	212,508千円	黒字	黒字	黒字	黒字

ミッションの遂行状況の評価（平成28年度）			
団体における 評価	積極的なテナント誘致活動に取り組んだ結果、設計業者や県労働事務所といった大型テナントの新規入居が実現するなどの成果を上げることができた。その結果、6期連続の黒字を達成し、安定した経営を継続できた。	市の評価	テナント誘致に力を注いだ結果、大型テナントの入居を実現し、目標を上回る入居率と6期連続の黒字化を達成できたことは高く評価できる。
	今後の課題及び見直し内容（案）		施設・設備の老朽化が進んでおり、今後も経営状況等を勘案しながら、長期修繕計画の着実な実施及び設備等の適切な管理を行う。第24期（H28）は外壁改修工事や火災報知機設備の更新などを実施した。第25期（H29）は、屋上防水工事やエスカレーター部品の交換、ビル共用部のLED化などに取り組む予定。

その他～「行財政改革大綱における見直し内容」の取組み状況	
見直しの分類	特に経営状況を注視する団体
不動産業者への定期訪問回数増による情報提供の拡大等、積極的なテナント誘致活動と既存テナントの増床を進めた結果、入居率が向上し、黒字を確保することができた。	